

福祉用具 個別サービス計画 疾患別 ミオレットⅢ選定理由事例

ミオレットシリーズ
MioletⅢ



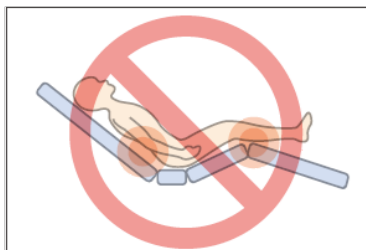
Point 1

車いすへ移乗しやすい



Point 2

背上げ時のズレ軽減



Point 3

省スペース設置



- 全体
- 認知症
- 高血圧
- リウマチ、握力低下
- 脳血管疾患

- 起立性低血圧
- 浮腫、むくみ
- 歯周疾患
- 摂食嚥下障害
- 褥瘡（床ずれ）

部屋の広さ

- ・設置スペースを考慮した選定が必要。
- ・垂直昇降機能で省スペースでの設置が可能な「ミオレットⅢ」を選定。



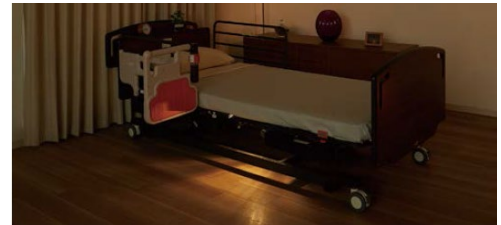
高身長、低身長

- ・利用者の体格に応じたサイズ、リクライニング位置への配慮が必要。
- ・ショート、レギュラー、ロングサイズを選択できる「ミオレットⅢ」を選定。
- ・ベッドの屈曲位置の調節が必要な場合は、膝の屈曲位置が調節可能な「ミオレットⅢ」を選定。



足腰の筋力の低下

- ・安全な起居動作ができる環境作りが必要。
- ・負担の少ない立ち上がりのためにベッド用グリップが必要となるが、ひざ当てパッドにより安定した立ち上がりと移乗を実現する「ニーパロ」を使用できる、「ミオレットⅢ」を選定。
- ・夜間の起居動作、居室の動線の把握にフットライト等による視界の改善が有効であるが、ベッドの電力で「人感センサー付フットライト」を使用できる「ミオレットⅢ」を選定。



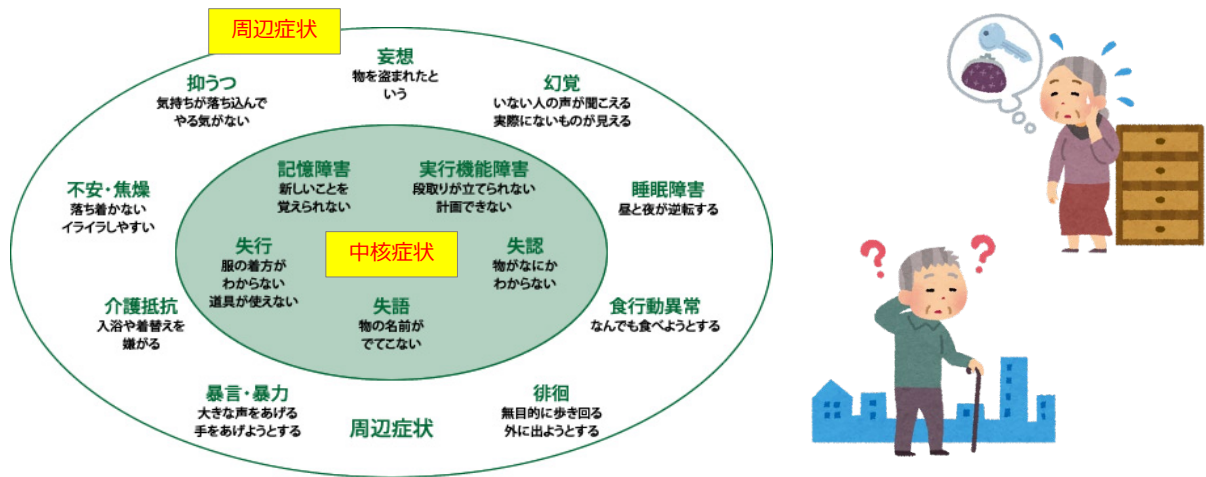
車いすの使用

- ・移乗しやすい環境に配慮が必要。
- ・すべてのサイドレールホルダーが収納可能で、ベッドに車いすを近づけられる「ミオレットⅢ」を選定。
- ・ひざ当てパッドにより安定した移乗を実現する「ニーパロ」を使用できる「ミオレットⅢ」を選定。



認知症とは

- ・ 認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりしたためにさまざまな障害が起こり、生活するうえで支障が出ている状態のこと。
- ・ 認知症の直接の原因である「脳の細胞が壊れる」ことで起こる症状を「中核症状」といい、認知症の方であれば誰しもが抱える症状のことをいう。
- ・ 一方、「周辺症状」とは「行動・心理症状」とも言われ、中核症状に本人の性格や環境の変化などが加わって起こる症状をいう。症状は人それぞれ異なり、また接する人や日時によっても大きく変わってくる。



配慮すべき点

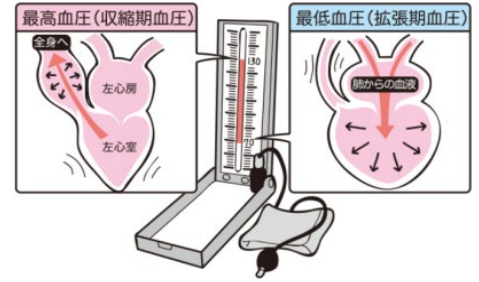
- ・ ベッドからの転落の恐れがある。

ミオレットⅢ選定理由

- ・ ベッドからの転落の恐れがある場合、またサイドレールの取付が困難な場合は、低床ベッドの「ミオレットⅢ」を選定。

高血圧とは

- ・高血圧とは、安静状態での血圧が慢性的に正常値よりも高い状態をいう。
- ・一般に高齢になるほど高血圧の割合が増え、70代の約70%は高血圧といわれている。
- ・高血圧の状態を放置していると、動脈硬化を促進し、脳卒中や心疾患、慢性腎臓病などの重大な病気につながる恐れがある。

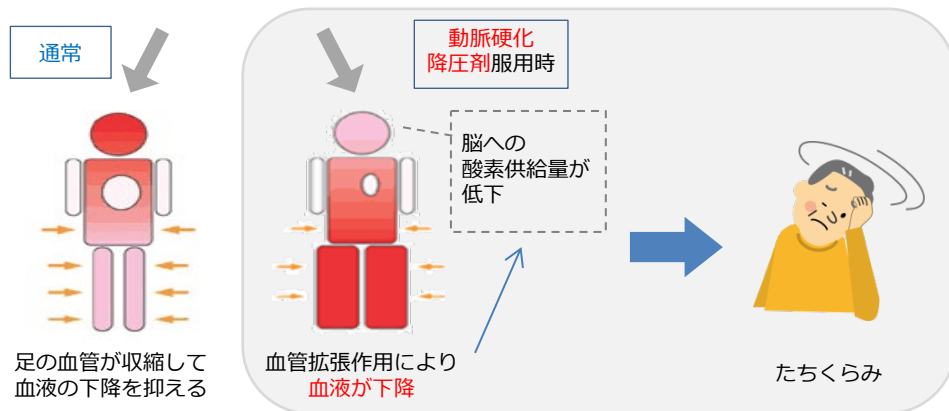


配慮すべき点

- ・血圧の急激な上昇を避けるため、立ち上がりや起き上がり等の強い力を含める行為に注意する。
- ・腹部の圧迫による血圧の上昇に注意する。
- ・降圧剤を服用している場合は起立性低血圧に注意する。

〈 起立性低血圧のメカニズム 〉

臥位から立位になると、重力によって胸から約700mlの血液が下肢へ流れる



ミオレットⅢ選定理由

- ・ボトム（床）の屈曲位置を調節でき、背上げ時の腹圧を軽減できる「ミオレットⅢ」を選定。
- ・負担の少ない立ち上がりのためにベッド用グリップが必要となるが、ひざ当てパッドにより安定した立ち上がりと移乗を実現する「ニーパッド」を使用できる「ミオレットⅢ」を選定。



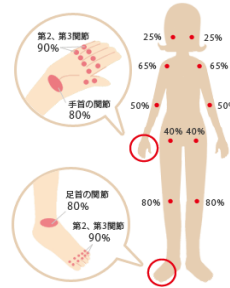
リウマチ・握力低下とは

- ・身体の中の多くの関節に炎症が起こり、関節がはれて痛む疾患。進行すると関節の変形や拘縮が起こる。
- ・手足の第2関節・第3関節や、手首や足首の関節などに発症しやすい。
- ・日によって、時間帯、天候や湿度によっても症状は変化する。
- ・年齢別にみると30～50歳代で発症した人が多く、男性に比べ女性に起こりやすい。

〈手足のリウマチ〉



〈症状の出やすい場所〉



配慮すべき点

- ・リウマチは関節の動きが制限され、ものを持つことが困難になる場合がある。
- ・症状が進行すると、変形が発生する場合がある。



ミオレットⅢ選定理由

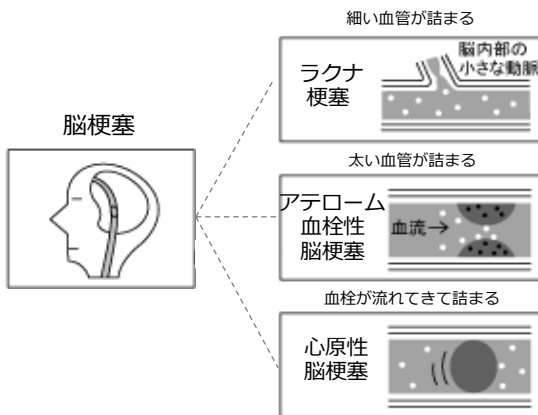
- ・手元スイッチがダブル・ホールドマウント形状で持ちやすく、操作のしやすい「ミオレットⅢ」を選定。



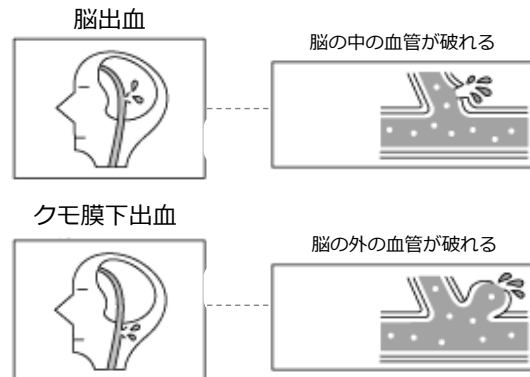
脳血管疾患とは

- ・脳梗塞や脳出血、クモ膜下出血などに代表される脳の病気の総称。
- ・脳の血管がつまったり、破れたりして起こる。たとえ命を取り留めても、手足のマヒや言語障害、意識障害、運動障害などの後遺症が残ることが多い。
- ・がん、心疾患に次ぎ現在の日本人の死因順位の第3位。

〈血管が詰まって起こる〉



〈血管が破れて起こる〉



配慮すべき点

- ・運動機能の麻痺による起き上がり、立ち上がり能力の低下。
- ・体位変換が困難になり、褥瘡のリスクが高まる。
- ・摂食嚥下障害により誤嚥性肺炎のリスクが高まる。

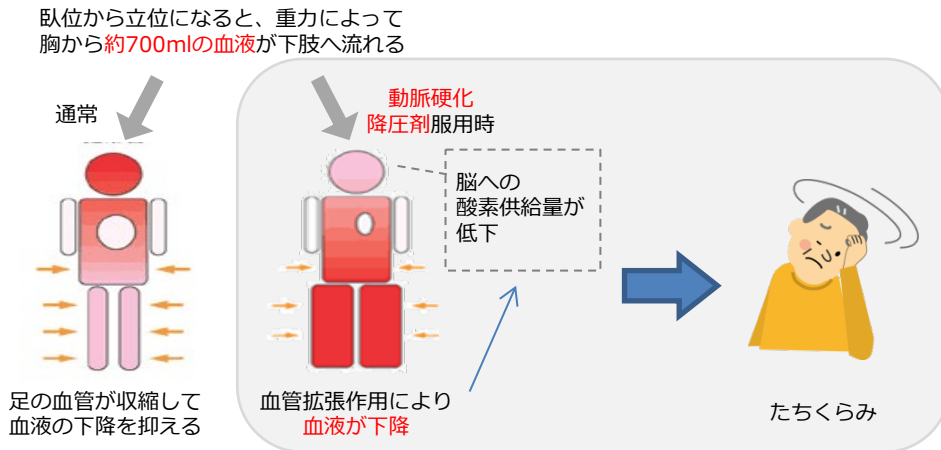
ミオレットⅢ選定理由

- ・ひざ当てパッドにより安定した立ち上がりと移乗を実現する「ニーパロ」を使用できる「ミオレットⅢ」を選定。
- ・背上げ機能のあるベッドを選定し、必要に応じクッション等で頭頸部の角度を調整する。



起立性低血圧とは

- ・起立性低血圧とは、横になった体勢や座った体勢の状態から、急に身体を起こした時や急に立ち上がった時等に血圧が下がり、立ちくらみ・眩暈・失神などの症状が現れるものをいう。
- ・立っている状態の時に、血液が重力に従って下肢へと集まって溜まってしまい、血液が心臓へ戻れず、心臓から拍出される血液量が減って動脈圧が低下することが原因で起きる。



配慮すべき点

- ・背上げ時や立ち上がり時に低血圧を発症し、バランスを崩したり心身に様々な不調が出現する。



ミオレットⅢ選定理由

- ・2モーター以上の機能があるベッドを選定。
- ・ひざ当てパッドにより安定した立ち上がりと移乗を実現する「ニーパロ」を使用できる「ミオレットⅢ」を選定。



呼吸器疾患とは

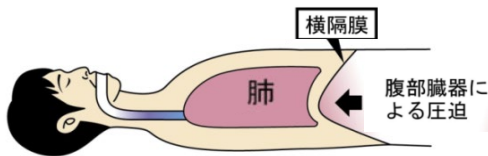
- ・呼吸器（上気道、気管・気管支、肺、胸膜等）に起こる疾患の総称。
- ・代表的なものに肺炎、肺結核があり、慢性疾患では、肺気腫、慢性気管支炎、気管支喘息などがある。
- ・アレルギーによる喘息や病状の進行に伴い、少しの動作で呼吸困難感が発生する。



配慮すべき点

- ・臓器による横隔膜への圧迫を減らし、呼吸をしやすい姿勢を取る。
- ・背圧や腹圧も呼吸を阻害する要因となる。
- ・睡眠時無呼吸症候群は、就寝時の頭頸部の調節によって改善する場合がある。
- ・ホコリやダニ等は床から30cm程度の高さに滞留する傾向がある。
- ・苦しくて動けないような場合には、オーバーテーブルなどを使用して起座呼吸（きざこきゅう）を促す。

〈内臓による肺の圧迫〉

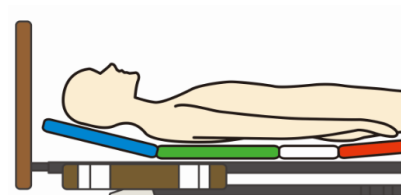


〈起座呼吸とは〉



ミオレットⅢ選定理由

- ・背上げにより臓器を下げ横隔膜への圧迫を軽減し、またボトムスの屈曲位置を調節でき、背上げ時の腹圧を軽減できる「ミオレットⅢ」を選定。
- ・背圧・腹圧を軽減する機能（バックオフ機能、ヒップダウン機構）のある「ミオレットⅢ」を選定。



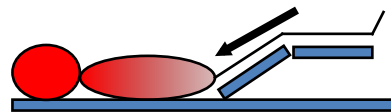
浮腫・むくみとは

- ・心不全や、慢性腎不全、低栄養状態などが原因で起こる。
- ・リンパ浮腫をそのまま放置しておくと、日常生活に支障をきたしたり、細菌感染などの合併症の危険性が高まる。
- ・リンパ浮腫は女性に多い特徴がある。



配慮すべき点

- ・細胞組織に水分が溜まって腫れるため、血液やリンパ液の循環を改善させる必要がある。
- ・浮腫が発生した皮膚は損傷を受けやすいため、褥瘡のリスクが高まる。



ミオレットⅢ選定理由

- ・脚上げ機能で中枢への血液やリンパ液の流れを促すことが必要になるが、脚上げ単独動作および足先上げ機能が必要な場合は「**ミオレットⅢ**」3モーターを選定。



足先上げ



足先下げ

歯周疾患とは

- ・歯周組織にみられる疾患群の総称。炎症、潰瘍、出血、乾燥等の症状がある。
- ・口腔機能が低下すると食物の種類が制限されるので、免疫力の低下から病気にかかりやすくなる。また食事や会話に支障をきたすと身体的にも精神的にも活動が不活発になり、高齢者では寝たきりや認知症の引き金ともなりえる。



配慮すべき点

- ・口腔ケアを実施する。
- ・口内細菌が多い場合、誤嚥性肺炎のリスクが高まる。

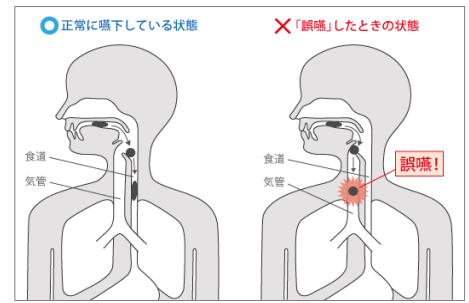


ミオレットⅢ選定理由

- ・背上げ機能のあるベッドを選定し、必要に応じクッション等で頭頸部の角度を調整する。
- ・口腔ケアを行う際に、介護者の負担を減らすため、昇降機能のあるベッドを選定。

摂食嚥下障害とは

- ・摂食嚥下障害とは、口から食べる機能の障害のこと。咀嚼したり飲み込んだりする動作が正しく働かない状態をいう。
- ・食事中によくむせたり、また、食事中でなくても唾液により突然むせたりせき込んだりする。
- ・原因として最も多いのが脳梗塞などの脳血管障害だが、高齢者は加齢による筋力低下等により発症しやすい。
- ・誤嚥性肺炎がおりやすくなる。

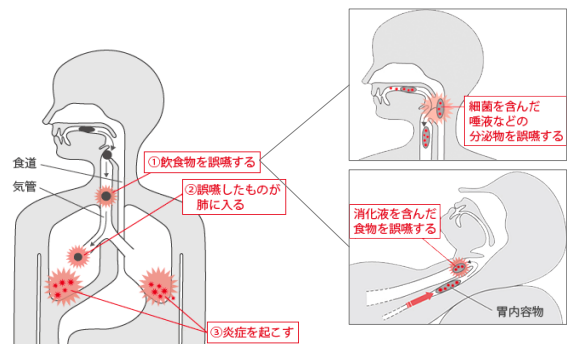


誤嚥性肺炎とは？

誤嚥により唾液や胃液と共に肺に流れ込んだ細菌が原因でおこる肺炎。

高齢者の肺炎の70%以上が誤嚥に関係していると言われている。

肺炎で死亡する人の94%は75歳以上であり90歳以上では死亡原因の2位にもなる。



配慮すべき点

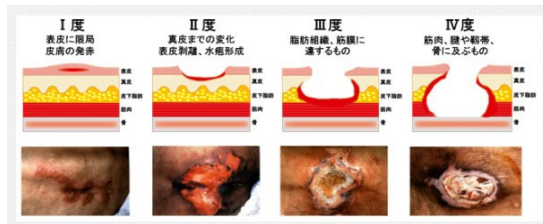
- ・飲み込みやすい姿勢を取り、誤嚥をしにくくする。
- ・口腔ケアにより口内細菌を減らし、誤嚥性肺炎を予防する。口腔ケアを行う際は唾液の誤嚥にも注意する。

ミオレットⅢ選定理由

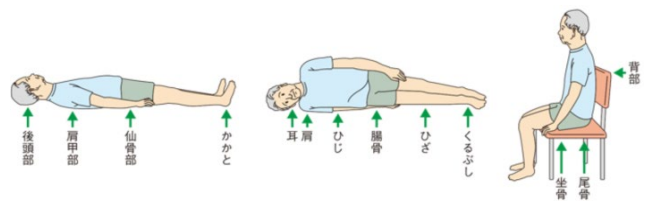
- ・背上げ機能のあるベッドを選定し、必要に応じクッション等で頭頸部の角度を調整する。
- ・口腔ケアを行う際に、介護者の負担を減らすため、昇降機能のあるベッドを選定。

褥瘡・床ずれとは

- ・寝たきりなどによって、体重で圧迫されている場所の血流が悪くなったり滞ることで、皮膚の一部が赤い色味をおびたり、ただれたり、傷ができてしまうこと。
- ・自分で体位変換できない方は、体重で長い時間圧迫された皮膚の細胞に十分な酸素や栄養が行き渡らなくなり、これにより「褥瘡」ができる。皮膚の表面だけでなく、皮膚の中にある骨に近い組織が傷ついている場合もあるので注意が必要。



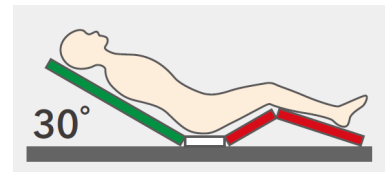
褥瘡の深度による分類(NPUAPによる分類)



姿勢別にみる褥瘡の好発部位

配慮すべき点

- ・長時間の圧迫を避けるため、定期的な体位変換が必要。
- ・背上げ時の仙骨部への圧迫とズレカ考慮し、背上げは30度まで。
- ・低栄養に注意。
- ・こまめなスキンケアが必要。



ミオレットⅢ選定理由

- ・定期的な体位変換のため、背上げ機能のあるベッドを選定。
- ・背上げ時の身体のズレを抑えるため、脚上げ単独動作ができるベッドを選定。